

学校経営推進費 事業計画書

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立長野高等学校
取り組む課題	B キャリア教育の充実（生徒の希望する進路の実現）
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外大学の総合型選抜（AO 入試・多目的評価入試等）合格者数 ・ 「課題研究などの探究活動によって、進路決定や進路希望実現への意欲が高まった」生徒の割合 ・ 「地域連携や国際交流を通して、違いを認め、相手を尊重する態度が身についた」生徒の割合 ・ 地域や海外との交流および会議開催回数
計画名	ながのガリレオ計画 ～ひらめきをキラメキに～

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画 の 中期的目標	<p>1 確かな学力を身につけ、自らの力で進路実現できる生徒を育成する。 （2）学校一体となって、「学習する体制」を整え、生徒一人ひとりの学習支援、進路実現の支援を行う。</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 大学や外部教育産業とも連携しながら生徒一人ひとりの進路支援体制・学習支援体制のさらなる充実を図る。</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ キャリア教育や課題研究など「総合的な探究の時間」における取組みを学校全体で組織的に行う。</p> <p>3 外国語教育、国際教育のさらなる充実を図り、Society5.0 時代の到来に向け、グローバル社会に対応できる多様な人材を育成する。 （1）英語や他の外国語でのコミュニケーション能力のさらなる向上に取り組むとともに、論理的思考力・課題発見・解決能力・探究力の育成を図る。</p> <p>4 地域・保護者とつながる魅力ある学校づくりと情報発信をさらに推進する。 （1）中高連携、高大連携、地域連携等を密にし、地域社会に貢献し、地域に必要とされる学校づくりを推進する。</p>
事業目標	<p>地域連携（令和4年に河内長野市と連携協定を締結）と国際関係学科設置校としての強みを活かした情報発信・中継基地としてガリレオルームを設置し、複数の事業者との連携や幅広い世代との交流を通じて、国内外で活躍するグローバル人材^{※1}の育成を推進する。</p> <p>1. 知の複合化による深い学びと進路希望の実現 複数の事業者と同時に連携する新たな試みによって、自らの強みを活かしたキャリアプランを立て、進路希望の実現を図る</p> <p>2. 交流対象の拡大による柔軟性と高い対応力の育成 対象を特定の世代から幅広い世代に広げることで、相手や状況に応じて臨機応変に対応できる力を身につける</p> <p>3. 上記1・2を実施するためのスキームの共有と成果の発信 新たな校内組織を立ち上げてスキームを構築し、成果は地域だけでなく、LETS^{※2}・ASPnet^{※3}を活用して情報発信する</p> <p>※1 世界的（グローバル）な観点で物事を考え、地域（ローカル）社会に貢献する人材 ※2 国際関係学科を設置している大阪府立高等学校の愛称 ※3 ユネスコスクールのネットワーク</p>

取組みの概要	整備する設備・物品	<p>本校含め最大4つの事業者や国との会議や交流の他、発表やワークショップを行う「ガリレオルーム」を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3面にプロジェクタ・スクリーン（ホワイトボード）などのICT機器・設備・物品 ○ソフトフロアマット ○スタック収納が可能な机と椅子 ○会議用超短焦点型プロジェクタ及びマット 	
	取組内容	前年度	河内長野市内の事業者との連携および海外との交流や国際的な学びで得た気づきを、地域の課題解決や社会貢献に結びつける取組みを進めてきた。課題研究を中心とした探究的な学びにおいて、複雑化する問題に対する解決策をより実効性の高いものにするために、単一の事業者との連携だけでなく、国内外の複数の事業者や教育機関と協働して、多様な観点から解決策を探る「ながのガリレオ計画」を構想。
		初年度	<ul style="list-style-type: none"> ①事業者や専門家による講義を通じて地域の課題を知り、課題研究テーマを設定 ②課題研究の発表にかかる評価規準を作成 ③外部講師によるキャリア講演会 ④「ながのガリレオ計画」の年間計画の見直し
		2年め	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の複数の事業者等と連携した課題研究 ②課題研究の発表にかかる評価規準の見直し ③本校含め複数の事業者や国との会議を開催 ④「ながのガリレオ計画」にかかるスキームの概要をまとめる
		3年め	<ul style="list-style-type: none"> ①国内外の複数の事業者等と連携した課題研究 ②課題研究の発表にかかる評価規準に基づき、生徒同士の評価を導入 ③本校含め複数の事業者や国との会議を開催し、自身の強みを踏まえたキャリアプランの作成 ④「ながのガリレオ計画」にかかるスキームをまとめ、LETSなどへ発信する
取組みの主担・実施者	<p>企画運営：首席、総合探究・HR委員会（総合探究学年主担・各学年主任・各学年LHR係）、進路指導部、【令和5年度新規】ICT活用・学力向上企画プロジェクトチーム（委員長・副委員長・進路部長・教務部長）</p> <p>実施者：全教員</p>		
成果の検証方法と評価指標	初年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 課題研究などの成果を活かし、大学の総合型選抜の合格者を5名以上。【前年度0名】 ② 「課題研究などの探究活動によって、進路決定や進路希望実現への意欲が高まった」生徒の割合60%以上【前年度データなし】 ③ 「地域連携や国際交流を通して、違いを認め、相手を尊重する態度が身についた」生徒の割合60%以上【前年度データなし】 ④ 地域や海外との交流および会議を2回以上開催。【前年度0回】 	
	2年め	<ul style="list-style-type: none"> ① 課題研究などの成果を活かし、大学の総合型選抜の合格者を10名以上。 ② 「課題研究などの探究活動によって、進路決定や進路希望実現への意欲が高まった」生徒の割合70%以上 ③ 「地域連携や国際交流を通して、違いを認め、相手を尊重する態度が身についた」生徒の割合70%以上 ④ 地域や海外との交流および会議を6回以上開催。 	
	3年め	<ul style="list-style-type: none"> ① 課題研究などの成果を活かし、大学の総合型選抜の合格者を15名以上。 ② 「課題研究などの探究活動によって、進路決定や進路希望実現への意欲が高まった」生徒の割合80%以上 	

- | | | |
|--|--|---|
| | | <p>③「地域連携や国際交流を通して、違いを認め、相手を尊重する態度が身についた」生徒の割合 80%以上</p> <p>④ 地域や海外との交流および会議を 10 回以上開催。</p> |
|--|--|---|